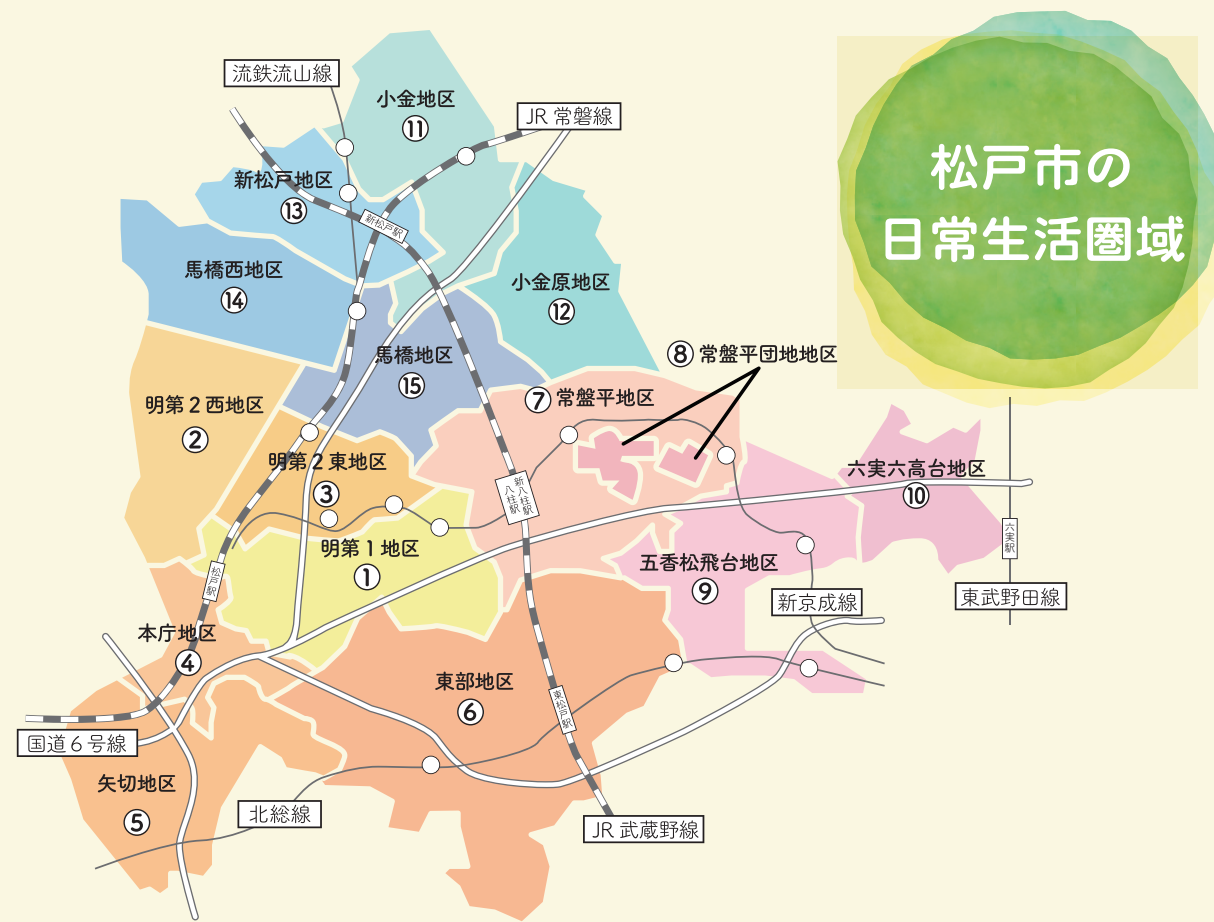




各地域包括支援センター担当地域一覧

① 明第1地区	根本・吉井町・小根本・緑ヶ丘1～2丁目 松戸新田・仲井町1～3丁目・稔台 稔台1～8丁目・岩瀬・野菊野・胡録台	⑨ 五香松飛台地区	串崎南町・串崎新田・松飛台・五香1～8丁目 五香西1～6丁目・五香南1～3丁目・五香六実
② 明第2西地区	栄町1～8丁目・栄町西1～5丁目 樋野口・古ヶ崎・古ヶ崎1～4丁目	⑩ 六実六高台地区	高柳・高柳新田・六実1～7丁目 六高台西・六高台1～9丁目
③ 明第2東地区	上本郷・北松戸1～3丁目・竹ヶ花 竹ヶ花西町・南花島・南花島1～4丁目 南花島中町・南花島向町	⑪ 小金地区	幸田・幸田1～5丁目・中金杉1～5丁目・平賀・東平賀 殿平賀・久保平賀・大金平1～5丁目・大谷口・小金 小金きよしヶ丘1～5丁目・小金上総町・小金清志町1～3丁目 ニッ木・ニッ木二葉町・根本内(国道6号西側)
④ 本庁地区	松戸・小山・本町・二十世紀が丘美野里町	⑫ 小金原地区	根本内(国道6号東側)・小金原1～9丁目・栗ヶ沢 八ヶ崎1丁目・小金1700番台
⑤ 矢切地区	上矢切・中矢切・下矢切・三矢小台1～5丁目 二十世紀が丘柿の木町・二十世紀が丘萩町 大橋(旧有料道路(県道松戸・原木線)西側)・栗山	⑬ 新松戸地区	横須賀1～2丁目・新松戸1～7丁目・新松戸東 新松戸北1～2丁目・小金1100～1300番台
⑥ 東部地区	河原塚・田中新田・紙敷・紙敷1～3丁目・東松戸1～4丁目 秋山・秋山1～3丁目・高塚新田・和名ヶ谷 大橋(旧有料道路(県道松戸・原木線)東側) 二十世紀が丘丸山町・二十世紀が丘中松町 二十世紀が丘戸山町・二十世紀が丘梨元町	⑭ 馬橋西地区	旭町1～4丁目・外河原・七右衛門新田・主水新田 新松戸南1～3丁目・西馬橋1～5丁目・西馬橋相川町 西馬橋蔵元町・西馬橋幸町・西馬橋広手町・馬橋(JR線西側)
⑦ 常盤平地区	金ヶ作・千駄堀・常盤平1～7丁目(常盤平団地の担当地域を除く) 常盤平双葉町・常盤平西窪町・常盤平陣屋前 常盤平柳町・牧の原・牧の原1～2丁目・日暮 日暮1～8丁目・常盤平松葉町	⑮ 馬橋地区	馬橋(JR線東側)・三ヶ月・幸谷・八ヶ崎・八ヶ崎緑町 八ヶ崎2～8丁目・中根・新作・中根長津町・中和倉
⑧ 常盤平団地地区	常盤平1丁目のうち駅上市街地住宅・常盤平2丁目のうち1街区 常盤平3丁目のうち3街区・中央市街地住宅・駅前市街地住宅 セントラルハイツ・常盤平4丁目のうちE街区 常盤平7丁目のうち2街区・けやき通り住宅		



目次 contents

1 多機能コーディネーターとは02

2 生活支援体制整備事業とは
地域に必要な「生活支援・介護予防」とは03

① 明第1地区	地域力を活かした介護予防の推進	04
② 明第2西地区	見守り関係機関の地域連携強化/介護予防のための通いの場創設/ 災害時避難行動要支援者対策	06
③ 明第2東地区	社会参加ができる通いの場づくり ～地域のつながりをもとう～	08
④ 本庁地区	地域のつながりづくり ～地域共生社会を目指して～	10
⑤ 矢切地区	令和7年度に取り組んだ活動について	12
⑥ 東部地区	支え合い、助け合いでつながる地域力! ～地域のつながりを生かした地域づくり～	14
⑦ 常盤平地区	高齢者の見守り活動について各団体が相互の連携を強めながら、 無理のない協力体制を築いていく	16
⑧ 常盤平団地地区	常盤平団地でハッピーに暮らそう ～外に出て楽しく過ごそう～	18
⑨ 五香松飛台地区	地域資源の再構築 ～地域のコミュニティの場づくりとマッチング～	20
⑩ 六実六高台地区	イベントや講座を通じてつながりを作る/ 支援者同士の関係を保ち、地域のつながりを育む	22
⑪ 小金地区	“できること”をつなぐ地域づくり ～支え合いの輪を広げる取り組み～	24
⑫ 小金原地区	みんながつながる小金原	26
⑬ 新松戸地区	助け合いのまちづくり/認知症について知ってもらおう ～子どもから企業まで見守りの目を増やす～	28
⑭ 馬橋西地区	シニアの方々の活動参加の場所の提供を積極的に取り組みながら住み慣れた街で いつまでもお元気で過ごして頂く活動を行う	30
⑮ 馬橋地区	地域の高齢者がつながることのできる居場所作りと住民ネットワークの構築	32

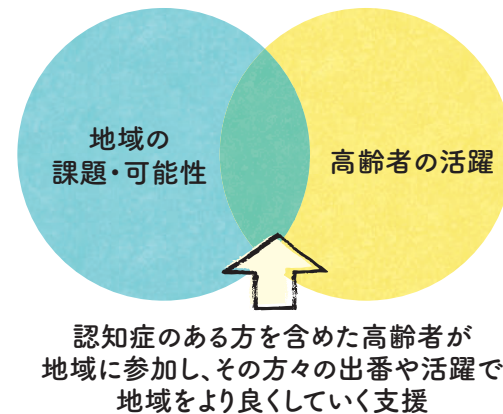
3 まつど地域つながりマップ34

多機能コーディネーターとは

令和5年度から
各地域包括支援センターに配置

3つの機能

生活支援コーディネーター
就労的活動支援コーディネーター
認知症地域支援推進員



生活支援体制整備事業とは

後期高齢者・単身世帯の増加から、介護を必要としないまでも、**軽度の生活支援・介護予防**を必要とする高齢者が増加しており、地域の体制を考える必要性が高まっている。



地域で長く元気に生活できる仕組みを、地域の皆さんと一緒に考えて、地域に合った形を作っていく取り組み。

地域で起きている
「日常の困ったな」を
みんなで解決できないだろうか。

地域ケア会議
(協議体)

2層ワーキング

地域に必要な「生活支援・介護予防」とは

例えば

- 地域のサロンの開催
- 見守り、安否確認
- 外出支援
- 買い物、調理、掃除など...

こういった活動に参加(社会参加)することで**介護予防**に効果があることがわかっています。

一律の制度では、地域の実情やニーズとミスマッチを起しがち...

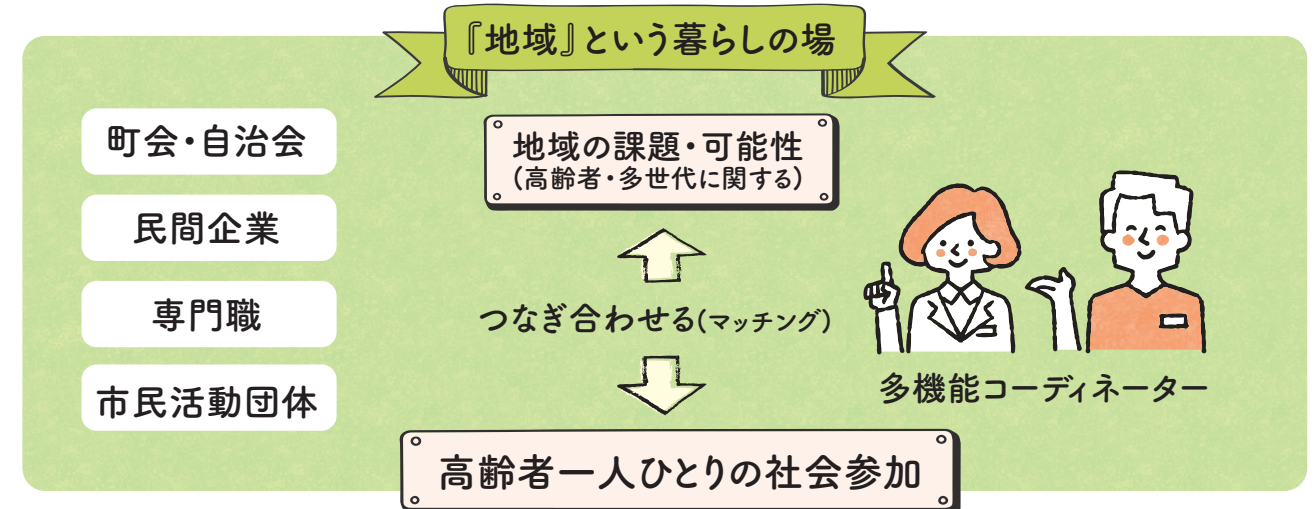
例えば

- 地域によって異なる課題に合わせて
- 地域に合った形を考えていく必要がある。

多機能
コーディネーターが
サポートします!!



暮らしの場である地域の中で、専門職や企業等と連携しながら、
地域の課題や可能性に対して高齢者自身の活躍の機会や場を繋ぎ
合わせていくことで地域をより良くし、一人ひとりが自分らしく暮らし続けることを目指す。



- ・ 元気な高齢者
- ・ フレイル状態の方
- ・ 認知症のある方
- ・ 介護を必要とする方 等



介護予防にも通じる
社会参加(出番・活躍・役割)で、
地域をより良くする一員へ。

※介護予防・・・生活機能維持・向上、早期発見・対応、重症化予防

① 明第1地区

根本・吉井町・小根本・緑ヶ丘1~2丁目
松戸新田・仲井町1~3丁目・稔台
稔台1~8丁目・岩瀬・野菊野・胡録台

地域力を活かした 介護予防の推進

総人口	55,625人
65歳以上	13,122人
高齢化率	23.6%
75歳以上人口比率	13.5%
※令和7年3月現在	
まっど地域つながり マップ掲載資源情報	76ヶ所
※令和8年3月現在	

地区の特徴

新京成線沿線に発達した地域。
駅から離れると土地の起伏がある。
住宅街、団地、商店街工場地帯に大別される。

都内へのアクセス良好。通勤者の
ベッドタウン。ファミリー層、学生、外
国籍の人も多い。

30年程前から見守り活動に力を入
れる連合町会、新しい取り組みを行
う自治会もある。地域力が大きく、住
民の理解・協力を得やすい。

地域 課題

- フレイルや認知症などのリスクを抱える方の早期発見、早期予防。
- 介護保険のサービスと人材が不足。インフォーマルの把握と活用、新たな資源の創出が必要。
- 土地の起伏があり、特に岩瀬、小根本、胡録台の一時避難場所が高台に位置。高齢者や障害を抱える方などの避難が難しく、災害時の不安を抱えている。

地域課題解決に向けた活動

1 季節のウォーキング

身近な地域で交流を
持ちつつフレイル予防

明るさ一番 (2層ワーキング)

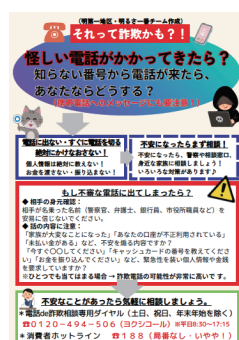


春のウォーキング
明市民センターから
明治神社、風早神社周辺



秋のウォーキング
明市民センターから明治神社、
風早神社周辺

2 防犯啓発のチラシ作成



こんな会話から生まれました

こんなに暑くちや、
外に出た方が良いなんて言えないよ

最近、詐欺電話がよく
かかってくるって聞くよ

防犯啓発のチラシを作ってみようか

夏まつりにはお地域の方が
多く参加するから、
そこを目標に作ってみよう!

家にいる時間が増えるね

家時間が増えるってことは
詐欺電話に出る確率もあがるよね

分かり易くフローチャート式に
したらどうだろう

地域ケア会議からの展開

専門職と地域活動との連携による介護予防の推進

地域ケア推進会議で挙げた地域課題
①地域活動同士の横の繋がりが不足
②専門職と地域活動がコラボした介護予防への
取り組みが必要

包括から提案
松戸市地域リハビリテーション
活動支援事業の活用

相談内容
地域でできる体力測定の種類、
実施方法、安全管理について

検討事項
地域で実施・継続できるような測定会。
※包括は基本チェックリスト実施

測定会内容
・準備体操、基本チェックリスト
・リハ職より体力測定の実施方法の
説明、自分達で実施できるよう、
説明用紙・測定表を配布
・測定会実施
・リハ職からの測定会結果の
配布、総評

7月 包括主催
健康相談会兼測定会を開催

8月 参加者より相談
「地域でもやって欲しい」

松戸市地域リハビリテーション
活動支援事業のPTへ相談

10月 打合せ
包括(相談員・多機能Co)、
リハ職、健康体操スタッフが参加

12月 測定会開催

包括相談員

基本チェックリストより
フレイル予防対象者へフィードバック

多機能
コーディネーター
地域の団体へ
積極的に声掛け、
横の繋がりを促進。

健康体操
1時間半~2時間(月1の開催頻度)
参加者30名程

健康体操スタッフの希望
「おもしろいものが良い」
「人と比べるのは嫌」

6か月後
測定会 開催予定
多機能
コーディネーター
自主実地に
向けてフォロー

地域でできる体力測定

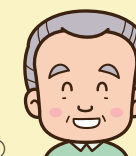
- ①握力測定
- ②TUG(3m歩行)
- ③30秒イスの立ち上がり
(年齢で評価)



1 就労的活動支援

基本情報

一人暮らしの高齢男性(要支援1)
介護サービス利用なし
地域の関わりなし・宅配弁当利用
自宅で閉じこもり傾向(ADL自立)
ペーパークラフトが趣味で毎日自宅で制作している
完成作品は包括などに寄付(子供たちに配って欲しい)



1 相談員の訪問に同行

相談内容

外で喋っていても
何の目的もなく
ウロウロしては
仕方がない

外出する
目的が欲しい

ペーパークラフトは
楽しい

好きな物は
共有したい

2 ペーパークラフト 講座の提案

- ペーパークラフトに
興味のある方の情報収集
- 開催場所確保
- 講座に必要な備品集め
- 制作する作品の検討(都度訪問)
- 当日ボランティアのお願い

3 ペーパークラフト 講座開催

閉じこもり傾向にあった高齢
者が自分が得意とするもの
で社会との繋がりを持つ機
会ができた。

4 稔台子供向け ペーパークラフト 講座の提案

- まつりで制作する作品の検討
(都度訪問)
- 子供向けに簡単に作れるよう工夫
- 当日ボランティアのお願い

5 ペーパークラフトに ふれてみよう!! (in稔台まつり)開催

まつり開催時に行うことで
多世代交流に繋がり、
大きな社会参加となった。



2 認知症地域支援、その他

次年度に 向けて

- 1 住民主体の通いの場づくりの支援
- 2 共生的視点を持ち、他分野との連携強化。
- 3 社会資源(まっど地域つながりマップ)の把握・活用・創出
防災にそなえて(介護事業所等との連携)

- 認知症サポーター養成講座(小学低学年対象)
- 多機能コーディネーターの役割を発信
- R7年度版お役立ちマップの更新
- 個別マッチング支援
- 地域づくり交流会開催
【テーマ】～繋がりがつらい人と、どう繋がるか～
- サロン立上げ・将棋倶楽部立上げ



② 明第2西地区

栄町1～8丁目・栄町西1～5丁目
樋野口・古ヶ崎・古ヶ崎1～4丁目

見守り関係機関の地域連携強化
介護予防のための通いの場創設
災害時避難行動要支援者対策

総人口	30,603人
65歳以上	7,900人
高齢化率	25.8%
75歳以上人口比率	16.7%
※令和7年3月現在	
まっど地域つながり マップ掲載資源情報	62ヶ所
※令和8年3月現在	

地区の特徴

河川が3本（江戸川・坂川・六間川）南北に縦断していて、全域がハザードマップ危険区域（洪水・液状化）になっている。災害時の避難行動要支援者が多い。

耕作地から住宅地への移行が進んでいて、新築の家が増えている一方、昭和の高度成長期に建った古い狭小住宅に住む高齢者が多く、空き家も増えている。

民生委員、町会を中心に高齢者を見守る意識が高い。

地域課題

- 長い距離を歩けなくなり、外出困難や買物困難の高齢者が増えている。また町会サロン等集いの場への参加者も減っているため、介護予防の取組強化が急務。
- 地域福祉の中心である社会福祉協議会・自治会・民生児童委員などの担い手が高齢化し後継者不足が深刻。関係機関が連携してボランティア不足などの地域の問題を話し合う基盤作りが必要

地域課題解決に向けた活動

介護予防・生活支援の取り組み

地域内関係機関との連携強化

多世代の住民が参加する地域内最大のイベント「ふれあいひろば」を社会福祉協議会と地域包括支援センターが共催。地域福祉・教育・医療の主要な関係機関との協働の場。

半年間、2時間×6回の実行委員会会議での議論を通して、関係機関間が強固な関係に進化

コーディネーターが意識していること

包括やコーディネーターがやりたいことを主張する場ではなく、他機関がやりたいことや困っていることを積極的に理解し、一緒に解決策を考える姿勢を意識している。



多機能コーディネーターが イベント実行委員として 参加することで得られる成果

地域内の主だったキーパーソン（社協・町会長・民生委員・ボランティア等）が実行委員になっている場において、地域の課題等を共有できる機会となっていて、顔の見える関係作りができる。

中学校や病院等も加わって、様々な機関が協働することで、地域を挙げて強固な連携構築の礎になっている。

地域包括支援センター単独では対応が難しい「防災」というテーマについて、高齢者等避難行動要支援者の個別避難計画の説明、VR（仮想現実）を活用した災害体験会、心肺蘇生・AED体験会開催など、地域の関係機関をあげた取り組みが可能となった。

SDGs楽しく遊んで賢く学ぼう!! ふれあい広場2025 会場別プログラム			
＜会場＞ 2西地区 社会福祉協議会A地域包括支援センター 共催＞			
【会場】 古ヶ崎市民センター 【日時】 11月23日(日) 10時～15時			
2階 ホール（ステージショー）	2階 和室（防災ブース）	駐車場会場	SDGs
小学生・中学生が作成したSDGsポスターを展示し審査を行います	10:30～11:30 11:40～12:40 13:00～14:00 14:10～15:00	AR体験コーナー 防災体験コーナー 防災体験コーナー 防災体験コーナー	SDGsについて、各会場で考えたり、体験をしてみよう!!
10:30～11:00 11:00～11:30 11:40～12:00 12:00～12:30 12:30～13:00 13:00～13:30 13:30～14:00 14:00～14:30 14:30～15:00	10:30～11:00 11:00～11:30 11:40～12:00 12:00～12:30 12:30～13:00 13:00～13:30 13:30～14:00 14:00～14:30 14:30～15:00	AR体験コーナー 防災体験コーナー 防災体験コーナー 防災体験コーナー	SDGsについて、各会場で考えたり、体験をしてみよう!!
1階 第1会議室	1階 第2会議室	2階 第2会議室	2階 第2会議室
カフェ（コーヒー・緑茶） 再生野菜の展示紹介	新聞紙でエコバック作り 新込チラシでパズル作り	握力測定・口腔機能検査	握力測定・口腔機能検査
1階 第1会議室	1階 第2会議室	2階 第2会議室	2階 第2会議室

2 高齢者と地域の 社会資源とのマッチング（個別支援）

高齢者の活動と参加を促進

「元気応援くらぶ」の新規立上げ支援

包括の経験・ノウハウを生かしたスムーズな立ち上げ支援を展開

既存の住民集いの場の運営支援

活動が継続可能な運営の後方支援
（メンバー数の維持・活動プログラムのマンネリ化防止・運営の困り事相談etc）

男の料理くらぶ メンバー募集！
3月13日（金）・4月17日（金）の10:15～12:30
＜会場＞ コーププラザ東葛（馬橋駅西口から徒歩10分）1000円/回

すまいるクラブ メンバー募集！
（松戸市元気応援くらぶ）
DVD介護予防体操（住民自主運営）【月会費】500円
【日時・会場】毎週木曜11時～12時：古ヶ崎新田町会会館

新規・元気応援くらぶ
メンバー募集!!
つながいサロン 栄町
介護予防自主活動（体操・脳トレ・ゲーム・うた・スマホ教室等）

モルック倶楽部 ～地区交流戦～



モルックの特徴

- ルールが簡単（5分で説明できる）
- 体力差がある人同士でも対戦できる（車いすの方もできる）
- 笑いとお話が自然と弾む
- 個人戦も団体戦もできて盛り上がる
- 道具が比較的安価（1万円弱）
- 狭い会場でもできる（公園など屋外が中心）

重点テーマについて

1 マッチングへの参画

これまで地域包括支援センターが、ニーズに基づき立上げ支援・運営支援してきた集いの場等へのマッチングがスムーズに成立した事例が多い一方、町会単位であったり包括との関わりが元々あまりない既存グループへのマッチング事例が少ない。地域の多様な社会資源を活用する自立支援ケアマネジメントを実践している居宅ケアマネジャーばかりではなく（増えてはいるが）、ケアマネジャーと多機能コーディネーターとの接点は多くない。

2 2層ワーキングの活用

コーディネーターの考え方に近く、一緒に活動しやすいメンバーでワーキングを構成している。



次年度に向けて

- 1 地域包括支援センター相談員・ケアマネジャーとの連携を高めて、フレイル状態または要支援認定の高齢者と、地域にある多様な社会資源のマッチングがスムーズに実現する体制を構築することで、高齢者が望む生活や健康な状態が、できるだけ長く維持できる支援をおこなう。
- 2 地域に不足している必要な社会資源である、地域住民の通いの場を創設する。また、通いの場の運営ボランティアなどの活動の機会・活躍の場を増やす。
- 3 地区社会福祉協議会・町会との連携を高めて、地域課題の共有と解決への協働を推進する。
- 4 高齢者の見守りと生活支援について、福祉・介護等の支援者（ケアマネ、民生委員、住民ボランティア等）の連携を強化し、高齢者が暮らしやすい街づくりをする。

③ 明第2東地区

上本郷・北松戸1～3丁目・竹ヶ花
竹ヶ花西町・南花島・南花島1～4丁目
南花島中町・南花島向町

社会参加ができる
通いの場づくり
～地域のつながりをもとう～

総人口	27,650人
65歳以上	5,961人
高齢化率	21.6%
75歳以上人口比率	12.5%
※令和7年3月現在	
まつど地域つながり マップ掲載資源情報	51ヶ所
※令和8年3月現在	

地区の特徴

坂道の多い地域である
地縁の繋がりが強い地域では高
齢化が進んでいる
新築戸建ての住宅が増えており、
若い世代も多くなっている
都内通勤のファミリー層が多いも
の、地域活動をしている層との
交流が少ない

地域 課題

- インフォーマルの活用、新たな資源の創出が必要
- 若い世代の地域活動の担い手不足
- 外出・買い物困難の高齢者が増えている
- 地域活動の参加は、男性が少ない

地域課題解決に向けた活動

1 元気応援くらぶ立ち上げ支援 ～通いの場で社会参加をしよう～

ことほぎの会

立ち上げのきっかけ

包括発信と地域住民発信がマッチング
「後期高齢者が集える居場所をつくりたい」
という住民発信の声と、「この地域で社会資
源が少ないので通いの場があったらいい
な」という包括の意見が一致!

活動 内容

雑巾縫い(ボランティア社会貢献)
健康体操・茶話会・脳トレ
交流会・手芸など
毎週水曜日 10時～12時
会場:松戸市運動公園

高齢者の居場所づくり
体操を通じて、
親睦を深める



北松戸雀友会

立ち上げのきっかけ

自治会館で活発に健康麻雀を実施している
既存の団体に、包括より発信をさせていただ
いた。
運営者も介護予防に通ずる活動で、高齢者
の興味・関心がある健康麻雀を、地域に広め
ていきたいという思いがあった。

活動 内容

健康麻雀・体操・脳トレ
茶話会・年1回の麻雀大会
会報誌の発行など
毎週水曜日 13時～17時
会場:北松戸会館

麻雀が脳トレ・
認知症予防に有効
北松戸町会の
協力あり



2 その他の活動

2層ワーキング

- 定例会において、地域の課題に
ついて情報共有と意見交換
- 第3回
「防災 まちあるき」の開催



マッチング支援

- 買い物移動販売:コモディイダ
運営している「とくし丸」利用
- 個別ケースからマッチングへ介護
予防体操教室を案内



普及啓発

- 社会福祉協議会の主催
によるイベントにて包括
業務・介護予防につい
て普及啓発を行う
いきいきサロン
ふれあい会食会
- 明第2東地区「みんなの秋祭り」にて
包括案内・認知症予防についてパンフレットにて
普及啓発
会場:上本郷小学校 校庭
- 民間企業との協働による
パンフレットの配架
上本郷郵便局
カープ・メンズカープ
整骨院

ネットワークの構築

- 町会役員
- 民生委員・児童委員
- ケアマネジャー



3 認知症地域支援推進員の活動

認知症サポーター養成講座の開催

- 看護専門学生
- 地域活動団体
- 市民後見協力員
- 市民有志



認知症予防教室の実施

- 認知症と聞こえの講話
- 脳のトレーニング
- 認知症予防の食生活
- 認知症予防の全身運動



オレンジ協力員の活動

- オレンジパトウォーク
- オレンジロードプロジェクト
- 介護事業所のボランティア
- 個別支援・ステップアップ研修
- 認知症高齢者声掛け訓練の実施



次年度に 向けて

- 1 個別マッチングの支援・ボランティア活動支援
- 2 「防災まちあるき」の継続
- 3 オレンジ協力員主体の認知症の方と家族の支援
- 4 シニアの社会参加の取り組み
- 5 インフォーマルの情報提供
- 6 買い物支援

④ 本庁地区

松戸・小山・本町・二十世紀が丘美野里町

地域のつながりづくり

～地域共生社会を目指して～

総人口	25,730人
65歳以上	5,391人
高齢化率	21.0%
75歳以上人口比率	11.6%
※令和7年3月現在	
まつど地域つながり マップ掲載資源情報	42ヶ所
※令和8年3月現在	

地区の特徴

松戸駅周辺に位置し、交通の便が良い。

公共施設や商業施設が立ち並び、地域活動が盛んで活気がある。

高齢化率が低く、若い世代が多く暮らしている。

生活支援体制整備事業

令和7年10月23日(木)

元気応援くらぶ代表同士の交流会

コーディネーターの
ねらい(関わり)

- 代表同士の顔の見える関係づくり
- 活動の共有、情報交換、意識向上
- 課題の抽出、共通する課題の検討

月	火	水	木	金	土	日

みんなで育てるまちのプランター



エディブルウェイ まちのプランター

みんなで野菜やハーブを育てる「食べられる景観」づくりをしています。
一緒に植物を育てたり、収穫を楽しみませんか？

水やりなどお世話に参加すると収穫や植物を使ったワークショップに参加できます！
お気軽にご参加ください！



エディブルウェイとは

お家やお店の前で、お住いの人が野菜やハーブを育てて、食べられる景観づくりをしています。これまでは個人のお家の前での活動でしたが、令和6年度松戸市協働事業としてまちのプランター活動が始まりました。オレンジガーデニングプロジェクトとも協力しています！



* お家・お店の前のプランターは個人が管理しています。
無断で摘み取らないでください。

主催：エディブルウェイプロジェクトチーム 令和6年度松戸市協働事業（みどりと花の課）
協力：松戸三丁目東自治会、本庁地域包括支援センター

民間企業との協働による普及啓発活動

8月26日～10月6日

キテミテマツド7階喜久屋書店

協働にて認知症普及啓発活動

当事者の声

幸せ
今を精一杯
生きる

メッセージツリー



認知症ブース



設置したもの

書店で販売している脳トレ本や認知症関連の本
認知症普及啓発のぼり旗
松戸市版認知症ケアパス
オレンジカフェチラシ
折り紙で作成した本のしおり
(オレンジカフェひなげし参加者で手作り)



2

松戸市立図書館

協働にて認知症予防に関する普及啓発活動



3

イトーヨーカドー松戸店

協働にて認知症・フレイル予防に関する普及啓発活動



次年度に 向けて

～更なる地域のつながり・協働を目指して～

- 1 地域のニーズと取組のマッチング
- 2 つながり協力員の安定した活動の運営
- 3 民間企業との連携強化



⑤ 矢切地区

上矢切・中矢切・下矢切・三矢小台1～5丁目
二十世紀が丘柿の木町・二十世紀が丘萩町
大橋〔旧有料道路（県道松戸・原木線）西側〕・栗山

令和7年度に 取り組んだ活動について

総人口	19,455人
65歳以上	5,097人
高齢化率	26.2%
75歳以上人口比率	16.1%
※令和7年3月現在	
まっど地域つながり マップ掲載資源情報	80ヶ所
※令和8年3月現在	

地区の特徴

長くに渡り居住している住民が多く、住民同士のつながりが深い。

江戸川沿いに農地が広がり、台地との間に急勾配の坂が多い地形となっている。

健康意識が高い高齢者が多く、介護予防教室や地域の体操教室などに通う人が多い。

地域課題

- 坂下の地域は公共交通がなく、移動に困難さを抱える住民が多い。
- 自治会の中には集会所を持たない町会も多く、地域活動ができる場所が限られる。
- 若い世代に限らず町会に入らない世帯が増えてきており、交流の機会の減少や、自治会・地域活動の担い手の高齢化が進んでいる。

地域課題解決に向けた活動

① マッチング支援について

事例①

生活支援コーディネート

デイサービスを卒業予定の方を地域の神社で行っている体操サークルへご紹介

認知機能の低下あり、開催日が覚えられず、3回ほどサークルへ同行

その後、同サークルに参加しているオレンジ協力員へサポートを依頼

オレンジ協力員がサークルの曜日に
お声かけをしてくださることとなる

事例②

就活支援コーディネート

趣味の写真撮影を何かに役立てたいとご自身で来所される

本人と話を重ね、デイサービスへ写真の寄付ができるように調整

現在も月に1回季節の写真を
入れ替えにご自身で行かれている

昨年度のマッチングに
関する相談件数

12
件/年



今年度
33件
(R8.3.13時点)

工夫したこと

多機能Coの支援がなくても活動を続けられるように調整を行った

課題など

- マッチングの成功率や、継続率が低い（継続できている事例：12例）
- 地域住民からの相談件数が少ない
- 軽度認知症のある方を紹介できる資源に限られる
- 総合福祉会館以外の場所での社会資源が少ない

2 2層ワーキングについて

つながり協力員事業を
地域の方と検討中!

今までの経緯

地域ケア会議で矢切地区でのつながり協力員活動についてを議論

- ⇒ コアメンバー会議でさらに具体的な議論を進める
- ⇒ モデル地区のメンバーで話し合いを実施中

地域のキーパーソンが
「知らない」とならないよう
会議の準備等を行った

3 認知症地域支援推進員

1 グループホームとの協働した活動機会の創出

グループホームと協働し、矢切こどもまつりの景品づくりを認知症当事者の方と作成

⇒ 100個の景品が完成!



実際に景品を受けとった子ども達からのメッセージカードをお渡し

2 認知症サポーター養成講座の実施

今年度は市民向け講座の他に、大学の看護学部で2回放課後児童クラブ、小学校で1回ずつ認サポを実施

認知症関連の絵本の読み聞かせをオレンジ協力員に担当していただけるよう依頼をした



小学生向け認サポの様子

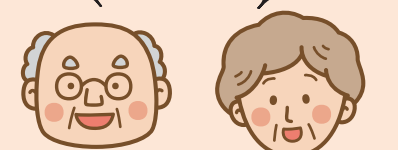
3 本人発信支援について

- 認知症の当事者の方へインタビューを行い、インタビュー動画を作成
- チームオレンジ研修会にて、オレンジ協力員へ見て頂きグループワークを実施



認知症ご本人の想いを知る
機会は初めて。
大変勉強になった。

もっと地域の皆が
認知症の人が抱える
想いを知ったほうがよいと思う。



というような感想・意見を頂いた。

次年度に 向けて

- 1 多機能コーディネーターの啓発、マッチングの質の向上
- 2 高齢者つながり協力員事業の立ち上げを実践
- 3 認知症のご本人と地域が交流できる場づくり

⑥ 東部地区

河原塚・田中新田・紙敷・紙敷1～3丁目・東松戸1～4丁目
秋山・秋山1～3丁目・高塚新田・和名ヶ谷
大橋（旧有料道路（県道松戸・原木線）東側）・二十世紀が丘丸山町
二十世紀が丘中松町・二十世紀が丘戸山町・二十世紀が丘梨元町

支え合い、助け合いでつながる地域力！
～地域のつながりを生かした地域づくり～

地区の特徴

15地区の中で一番面積が広く、農地や坂が多いため、移動手段としてグリーンスローモビリティが活用されている地域もある。

東松戸駅、秋山駅周辺ではマンションや戸建てが新しく建設されており、若年層が増えている。高齢化率は低い。

地域住民のつながりが強く、高齢者のサロンや見守り活動等の地域活動が盛んである。

総人口	49,897人
65歳以上	10,514人
高齢化率	21.1%
75歳以上人口比率	12.9%
※令和7年3月現在	
まつど地域つながりマップ掲載資源情報	65ヶ所
※令和8年3月現在	

地域課題

- 面積が広く、農地や坂が多いため集える場所が複数必要。
- 町会・自治会単位の集える場はあるが、地域を問わずだれでも気軽に集える場所がない。
- バス路線が乏しく、買い物や外出するための移動手段が必要。

地域課題解決に向けた活動

認知症カフェ

えがおの森 オープン！

開催日 毎月第4火曜日
時間 13:30～15:00
会場 オーガニックカフェM+
(梨香台ショッピングプラザ内)
参加費 200円（ドリンク付き）

約2年前から、店主との関係作りを始め、他の集いの場との兼ね合いを考慮しながら、開催日時が重ならないように日時を設定した。2層ワーキングとしては3回ほどの打ち合わせをする中で、地域包括職員が試験的にお店にお店に、ニーズ調査を行った。



新たに居場所がオープンしました！

ほっとサロン

小さな森の家 オープン！

開催日 毎月不定期開催
(施設側の利用がない日)
時間 10:00～12:00
会場 小さな森の家（高塚新田）
参加費 無料（フリードリンク付き）

高塚新田地区に2ヶ所目のサロンが4月よりオープンした。地域住民の多くの声により昨年より令和7年度開設に向けて準備をしてきた地域住民が他市で活用されているという情報を共有して、家族葬を行っている小さな森の家と交渉をして4月オープンに至った。施設内の自動販売機のドリンクは無料で提供。YouTubeを利用して健康体操も可能。



その他の活動

1 地域の方の社会参加サポート

認知症当事者の方も体操教室参加し、介護予防、認知症予防につながっている。オレンジ協力員のサポートもあり、お互いに支え合う関係となっている。

オレンジ協力員と一緒に地域住民の方もオレンジバトウォークに参加している。季節感を味わいながら、社会参加の場としても活用されている。



2 地域の住民とのネットワークづくり 地域活動への参加

東松戸まつりでは、つながり協力員（高齢者支援連絡会）の方たちと参加して、地域のネットワークの構築に向けて活動をしている。開催場所の東松戸中央公園は、駐車場があるため、東部地域以外からも利用者が訪れ、子育て世代も多く集う公園として利用されている。



東部地区社会福祉協議会主催のふれあい広場に参加して、東部地域の多世代に渡り、認知症啓発を行った。子どもたちも地域包括職員と輪投げを楽しみながら、風船や啓発グッズを配布した。



6地区で開催されている「まつどDEつながるステーション」に参加し、多世代（主に子育て世代）に認知症予防啓発や高齢者虐待防止の啓発を行った。

高齢者と子育て世代の二極化に対して、若い世代に向けてのアプローチを視野に入れ、多世代交流の活動として毎回参加している。東松戸のゆいのはな公園での開催は、周囲にマンションが多く、子育て世代がご家族連れで多く来られることが特徴である。



3 地域活動への参加をサポート

移動支援

地域の方たちが、買い物、ほっとサロンや認知症予防教室等への移動手段として、グリーンスローモビリティ（グリスロ）が活用されている。

地域が広く、路線バスの本数や走行地域が限られ、移動手段に苦慮している。バスが利用ができない地域住民にとっては、グリスロは大切な移動手段となっている。



次年度に向けて

- 1 地域の見守り活動の連携強化
つながり協力員（高齢者支援連絡会）と民生委員、オレンジ協力員との関係性を構築して、地域のつながりを生かした地域の見守り活動を強化。
- 2 地域を超えた多世代交流の居場所づくり
町会自治会を超えた、多世代交流の居場所開設に向けて、2層ワーキングメンバーと話し合いを持つ。
- 3 既存の居場所を充実
現在のサロンやカフェのさらなる活用に向けて、内容の充実を図り、地域住民の社会参加を促す。

⑦ 常盤平地区

金ケ作・千駄堀・常盤平1～7丁目（常盤平地区の担当地域を除く）
常盤平双葉町・常盤平西窪町・常盤平陣屋前
常盤平柳町・牧の原・牧の原1～2丁目・日暮
日暮1～8丁目・常盤平松葉町

高齢者の見守り活動について
各団体が相互の連携を
強めながら、無理のない
協力体制を築いていく

総人口	53,132人
65歳以上	14,970人
高齢化率	28.2%
75歳以上人口比率	17.3%
※令和7年3月現在	
まっど地域つながり マップ掲載資源情報	78ヶ所
※令和8年3月現在	

地区の特徴

松戸市の中でも総人口が多く、65歳以上の高齢者人口が多い地域である。

28の町会から成り、それぞれの地域特徴で自治会の活動を行っている。民生委員も常盤平地区・高木地区と二手に分かれそれぞれの特徴を生かし見守り支援を行っている。

地域課題

- 家族の支援が受けられない独居の高齢者世帯が増えている。片付けができないなどの状態が現れ近所からの申告で表に出てくる問題が多数
- ひきこもりや障害のある子どもとの同居をしている高齢者世帯が増加。自身の相談と伴に子供の相談も増加
- 独居高齢者の安否確認件数の増加

民生委員児童委員（高木地区・常盤平地区）
常盤平地区社会福祉協議会、町会長、常盤平見守り協力員、NPO協議会、地域包括支援センターがワーキングメンバーとなり、2層ワーキングを実施

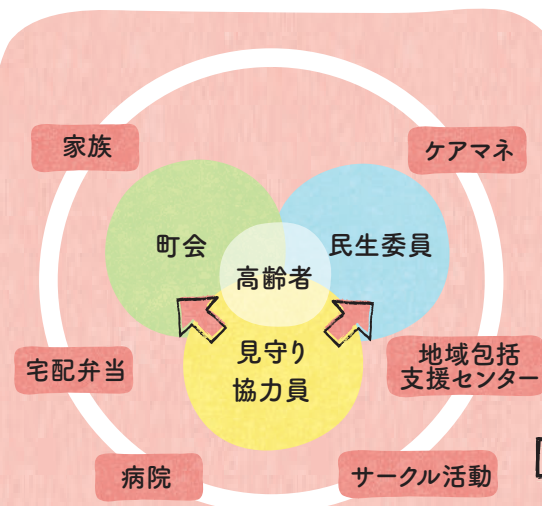
今年度のテーマ

地域で活動する各ボランティア（民生委員・常盤平見守り協力員・オレンジ協力員）の活動をそれぞれが理解し、見守り支援を協働できる体制を整える

地域課題解決に向けた活動

2層ワーキング

地域づくり推進委員会(年9回)開催



地域の見守りについて 関係機関との連携強化



常盤平見守り協力員
登録説明会

見守り活動は、地域ごとの実情に応じて、無理なく続けていくことが大切。ルールや同意書は、活動を支えるための「道具」であり、目的ではない。地域の力を活かしながら、できることから少しずつ進めていくことを確認。

見守り協力員
R7年度15名登録
R8年度30名に増員



次年度に向けて研修会実施

地域づくり推進委員会の議事録を28町会に送付し理解を求めた連携強化のため高木地区・常盤平地区民児協定例会でも説明し協力を求めた(偶数月)

参加メンバー

町会長	高木地区民生委員
地域住民	常盤平地区民生委員
地区社協	常盤平見守り協力員
NPO協議会	オレンジ協力員

その他の活動



8か所の元気応援クラブに加え
新たに8か所が立ち上がりました

立上げ支援



ニーズに合った
マッチングの
選択肢が増える

マッチング支援

生活改善
健康増進
介護予防
楽しみ



常盤平圏域掲示板数 全333カ所

次年度に 向けて

- 1 地域ボランティアの増員に向けた普及啓発と活動支援
- 2 それぞれの地域ボランティア間での連携体制を強化するために交流会や地域の行事参加で相互交流の機会を増やす
- 3 各地域での社会資源の把握とサークルの立ち上げ支援
- 4 個別マッチング支援の推進

⑧ 常盤平 団地地区

常盤平1丁目のうち駅上市街地住宅・常盤平2丁目のうち1街区
常盤平3丁目のうち3街区・中央市街地住宅・駅前市街地住宅
セントラルハイツ・常盤平4丁目のうちE街区
常盤平7丁目のうち2街区・けやき通り住宅

常盤平団地で
ハッピーに暮らそう！
～外に出て楽しく過ごそう～

総人口	6,647人
65歳以上	3,057人
高齢化率	46.0%
75歳以上人口比率	30.3%

※令和7年3月現在

まつど地域つながり
マップ掲載資源情報 45ヶ所

※令和8年3月現在

地域 課題

- 住民主体の居場所づくりをすすめていく、地域づくり活動を地域住民に周知していく

- 地域住民の交流機会の低下。自治会、地区社協理事レベルの高齢化

マンパワーの不足を
自治会と共に考える

地区の特徴

- 常盤平駅周辺まちづくりの検討会が進んでいる。
- 60周年を超えた団地で構成された地区で高齢化率、75歳以上比率共に最高値。
- 団地内徒歩15分圏内に支所、郵便局、交番、病院、市民センター、図書館、小中学校、スーパー、大きな公園生活に必要なものがそろっていてファミリー層から一人暮らしの高齢者まで多世代にわたり生活しやすい。
- 自治会に力があり、1年通して大きなイベントを開催している。今年度においても顔の見える関係づくりを続けている。
- 外国にルーツを持つ人の割合は約10%、ほぼ中国が占める。
- 住民の高齢化で見守りが必要な独居の方が増えている、エレベーターが無い棟の高齢者の移動などが課題。
- 同じような棟が並んでいるので、外部の事業者等が認知症の方をお連れしたときなど棟番号がわかりにくく家を特定しづらい事例が起こっている。

地域課題解決に向けた活動

常盤平駅周辺まちづくりに関する話し合いが地域で進む中、関係性づくりのきっかけの一つとして地域包括ケア推進会議を拡大開催と位置づけ、千葉大学、聖徳大学、東邦大学、国際医療福祉大学、松戸向陽高等学校、常盤平駅周辺まちづくりまちづくり課、地域共生課、政策推進課SDGs推進担当室を招いて地域課題について地域の若い人の声を行政に届けた。

自治会、地区社協の世代交代を進めるにあたり、SNS等を利用して地域の魅力を発信している。(インスタグラム利用)

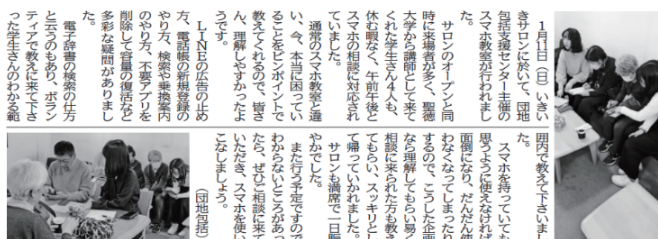
地域住民の外出機会を増やすために集いの場(お茶を飲む会)の集客強化、催し情報収集。

つなステ、UR都市機構との共催によるイベント支援

住民のスマホに関する悩みを受け、「いきいきサロン」にて大学生によるスマホ相談会を開催

スマホの疑問解決します

団地包括支援センタースマホ教室



課題解決に向けた話し合い(地域づくり会議)を毎月開催している。

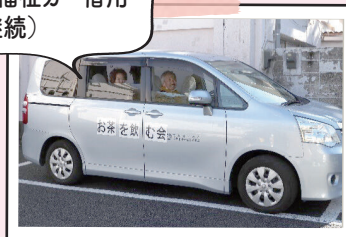
地域資源としてTOKIWALKの普及啓発。(ケアプランに筋力予防文言あれば、社会資源としてケアプランに入れ込むなど) TOKIWALKサポーターの取り組み。

団地住民主体の社会資源創出への糸口を探りながら協力関係を維持する

その他の活動

相談内容

遠方参加者の足の確保に
松戸市社協福祉カー借用
(継続)



自治会イベント支援

R8.3.14

暮らしフェスタ
住民と福祉サービス出会いの場

地域づくり交流会

暮らしフェスタ2026開催

日時 2026年3月14日(土)

場所 望のひろば(雨天決行<商店街軒下開催>)

ねらい 主に高齢者の生活支援サービスの見本市(紹介)を行い、高齢者や独居になっても住み慣れた団地で暮らせるような地域づくりを目指し、介護事業所・市民団体・住民などのつながりを作ることを目的とする。

- ケア会議出席事業所、関係機関の地域と関係性のある事業所の参加を募る。
- 参加事業所にはブースを設けてもらう。
- スタンプラリー+介護保険サービス関連の3択クイズでたくさんのブースをまわってもらう。
- スタンプ+クイズ回答で後半のビンゴ大会参加資格
- 時間ごとにラジオ体操、防災クイズ、電動カート、電動小型モビリティの試乗会、TOKIWALK体験会を催す。随時ブースをまわることで説明を受けられる。
- 市社協キャラクターまっころん利用して集客強化に努める。
- さくらまつり常連キッチンカー、OMUSUBI不動産から計4台のキッチンカーの協力参加

次年度に 向けて

- 1 自治会、団地社協イベントの開催支援。
- 2 居場所づくり(お茶を飲む会)集客強化。
- 3 お茶を飲む会の内容バリエーションを増やす。
- 4 SNSの安定運用(支援者とのマッチング)。
- 5 常盤平駅周辺まちづくり課との支援体制継続

⑨ 五香松飛台地区

串崎南町・串崎新田・松飛台・五香1～8丁目
五香西1～6丁目・五香南1～3丁目・五香六実

地域資源の再構築

～地域のコミュニティの場づくりとマッチング～

総人口	36,443人
65歳以上	9,723人
高齢化率	26.7%
75歳以上人口比率	16.7%
まっど地域つながり マップ掲載資源情報	37ヶ所 ※令和7年3月現在 ※令和8年3月現在

地区の特徴

住宅密集地の五香/五香南地区、工業団地とその周辺の五香西/松飛台地区、泉が丘・串崎南町・串崎新田それぞれの自治会を有する串崎地区と、大きく3つの地区に分かれる。

自治力が高い町会・自治会が多くあり、民生委員や相談協力員など、地域活動が活発。

地域コミュニティの希薄化

- 自治力は強い中、近所付き合いの減少やボランティアの活動の担い手不足が見られる。
- 地域の趣味活動、コミュニティとの接点を持ってない高齢者の社会参加の場不足。
- 子どもと高齢者との交流の場が乏しい。

地域課題

地域課題解決に向けた活動

1 多世代交流

松飛台小学校学童クラブ×ワーキング

参加者 学童の子ども達・牧の原東町会・五香西町町会・ひまわりの丘デイサービス利用者様・地域づくり交流会メンバー

子ども（児童）
高齢者って？ 認知症って？
一緒に楽しみたい！

認知症サポーター
養成講座を受講

高齢者
趣味や特技を活かしたい！
なにができる？

なにかできない？
子ども達と関わりたい！！
子ども達の笑顔が見たい

子ども（児童）と高齢者との交流が少なく、近所に住んでいても互いに声掛けをする機会もない、まずは顔見知り・見守りにつながり、子どもから高齢者まで楽しめる昔遊びを通じ社会参加の促進ができるのではないかな。

子ども（児童）
将棋・こま・折り紙
などの昔遊びで遊んでいる。

高齢者
昔、遊んでいたもの
将棋・お手玉・折り紙etc.

- 小学校の近隣住民、サロン参加者などに声をかけをし募る。総勢33名のボランティア様が集まる。交流会を通じ、挨拶や見守りへとつながり、声かけへとつながることができたと。

- 学童の先生と何度も話し合い、コマ・けん玉・ボッチャ・あやとり・紙芝居・折り紙・お手玉・おはじき・ストローとんぼ・将棋のブースを、学童の教室をお借りし立案・検討。

松飛台小学校学童クラブ：地域づくり交流会

参加者 学童の子ども達・牧の原東町会・五香西町町会・ひまわりの丘デイサービス利用者様・地域づくり交流会メンバー

小学生と高齢者との交流が少なく、近所に住んでいても互いに声掛けをする機会もないため、顔見知りになり見守りにつながるのではないかな、子どもから高齢者まで楽しめる昔遊びを通じ社会参加の促進。



10ブースは子ども達にとっては魅力あるものばかり、子ども達との交流がない中楽しい時間であったという間に！！子ども達の夏休みなどを利用し定期的に開催予定

2 多世代交流

日時：12月25日（木）13:30～
場所：松飛台小キッズルーム

コマ・けん玉・ボッチャ・あやとり・紙芝居・折り紙・お手玉・おはじき・ストローとんぼ・将棋

社会資源につなぐ

家の近くに楽しむ場が欲しい！！
男性の活躍の場をめざし！！

1 認知症予防教室から自主グループへ

男の料理の運営支援
毎月第2木曜日
参加者同士で献立⇒買い物⇒調理



ウォーキングの運営支援
毎月第2金曜日
参加者同士でコース決め
皆「一緒に行こう」と意欲向上



2 地域資源へ

囲碁・将棋



毎月第3水曜日 脳をフル回転！！

健康まーじゃん



毎月第3木曜日 初心者大歓迎

3 オレンジ協力員の活動

認知症当事者・高齢者や障害の方など皆が楽しめる場
地域での見守り、住み慣れた街で！！

オレンジガーデニング



五香西地区
草花が好きな認知症当事者や地域の方と一緒に花壇の苗植えや草取りなど



泉ヶ丘地区

ボッチャ体験会



認知症当事者と一緒に「ボッチャ」！！を目指し

いきいき喫茶（認知症カフェ）



認知症当事者と一緒におしゃべり！！

次年度に向けて

「住み慣れた街でいつまでも自分らしく過ごして欲しい」という目標で、社会参加の場や社会貢献の場づくりを！！

- 1 多世代交流の継続（小中学校との連携）
- 2 認知症の方でも気軽に参加できる場づくり（オレンジ協力員との連携）

⑩ 六実六高台地区

高柳・高柳新田・六実1～7丁目
六高台西・六高台1～9丁目

- イベントや講座を通じて
つながりを作る
- 支援者同士の関係を保ち、
地域のつながりを育む

総人口	23,077人
65歳以上	6,842人
高齢化率	29.6%
75歳以上人口比率	16.7%
※令和7年3月現在	
まっど地域つながり マップ掲載資源情報	44ヶ所
※令和8年3月現在	

地区の特徴

- 松戸市中心部から最も離れている地区
- さくら祭りや六実つつ祭りなどの大きなイベントが継続して開催され、地域に浸透している
- 民生委員やNPO、町会自治会など、長年活動している団体が複数ある
- 2024年5月運行開始のグリーンスローモビリティが認知され、利用率が高まっている

地域課題

- 大規模団地群がないにもかかわらず、高齢化率が高めである
- 県道沿いにあった老舗スーパーが閉店し、買物空白地帯ができた
- 地域活動における男性の参加率が低め

地域課題解決に向けた活動

1 講座内容やタイトルを工夫



啓発講座

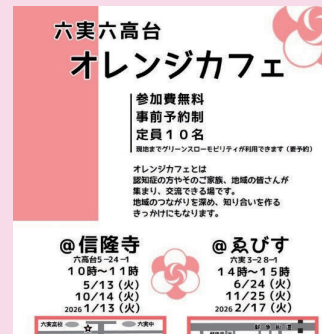


認知症サポーター養成講座



タイトル変更で
参加者倍増

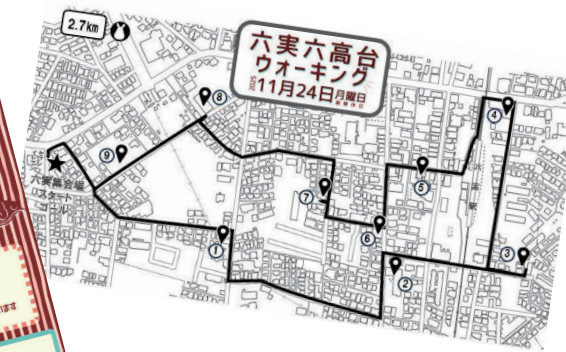
オレンジカフェ



当事者の参加が
難しかった

支援者間の良好な関係性

2層ワーキング



毎年開催



今後も継続

買い物支援



R7年度 反省点

- 相談数が多い
- 成立までの難関を克服できず

次年度に 向けて

- 1 包括主催の催しと地域イベントへの参加を継続
- 2 2層ワーキングで地域共生社会実現に向けた話し合い
➡ 支援者間の関係を末永く良好に保つ
- 3 マッチングなど個人へ向けた支援を強化

11 小金地区

幸田・幸田1～5丁目・中金杉1～5丁目・平賀・東平賀
殿平賀・久保平賀・大金平1～5丁目・大谷口・小金
小金きよしヶ丘1～5丁目・小山上総町・小金清志町1～3丁目
ニツ木・ニツ木二葉町・根木内（国道6号西側）

“できること”をつなぐ 地域づくり

～支え合いの輪を広げる取り組み～

総人口	45,328人
65歳以上	11,259人
高齢化率	24.8%
75歳以上人口比率	14.8%
※令和7年3月現在	
まっど地域つながり マップ掲載資源情報	57ヶ所
※令和8年3月現在	

地区の特徴

- 地域活動が活発で、町会自治会、地区社協、民生委員等の連携基盤が強い
- 南北で地形や交通環境に地域差がある
- 北部地域では社会資源が不足している
- 歴史ある地域で、住民の地域愛着が強い

地域課題

- 高齢単身・高齢夫婦世帯の増加に伴う社会的孤立の拡大
- 移動手段や地域差による外出機会の減少と買い物等の生活不便
- 北部地域を中心とした居場所・社会資源の不足
- 外出機会の減少等によるフレイル進行リスクの高まり
- 地域活動の担い手が高齢化しており、継続が難しくなっている

地域課題解決に向けた活動

1 中金杉健康イベント

10月10日（金）
参加者：約40名
移動販売・民間企業とコラボ



2 地域交流会

6回実施



- 買い物機会の確保による自立支援
- 移動販売の集客回復による社会資源維持
- 買い物を通じたコミュニティ形成
- 健康チェックで自分の身体を知る → 専門職のアドバイス

- オレンジ協力員の得意を活かした交流
 - ・スクエアダンス
 - ・作品展示
 - ・ハーモニカ演奏など
- 役割創出・自信向上・交流の広がり

得意

役割

自信

地域のつながり

その他の活動

1 マッチング

散歩支援
交流会送迎支援
傾聴ボランティア
パトワーク など

- 在宅 → 施設入所者の希望に沿って月2回支援継続
- 本人・家族・施設・オレンジ協力員それぞれの立場を整理し調整



2 エディブルウェイ

～ゆるいつながり～

夏野菜の栽培・収穫を通じた交流
オレンジ協力員や地域の方との
自然なコミュニケーションを創出
井戸端会議のような会話
オレンジLINEで情報共有



物忘れが見られるオレンジ協力員との関わりは「支援する側・される側」だけでは整理できない場面も。チームオレンジとしてどのように寄り添い支え合えばいいのかな？



3 小金助け合いの会

～住民同士の助け合い活動～

	令和7年度	令和6年度	増減
協力会員数（人）	29	21	+8
支援実施数（件）	11	21	※△10
支援内訳（件）	雑草・枝切り 6 室内外清掃 4 ゴミ出し 1	雑草・枝切り 4 室内外清掃 3 ゴミ出し 13 買物・電球交換 1	

※定期的なゴミ出し支援卒業

交流を大事にしています！



次年度に向けて

- 1 オレンジ協力員が個々の活動量に合わせて、楽しく無理なく活動できる環境づくりの推進
- 2 小金助け合いの会の実績を重ね、更なる周知と発展を目指す
- 3 防災訓練をきっかけとした、ネットワークの構築

困りごとの解決だけでなく、一人ひとりの“できること”を地域の力に変え、自然につながり合える地域を作っていきたい！



12 小金原地区

根木内（国道6号東側）・小金原1～9丁目・栗ヶ沢
八ヶ崎1丁目・小金1700番台

みんながつながる小金原

総人口	27,290人
65歳以上	8,814人
高齢化率	32.3%
75歳以上人口比率	20.8%
※令和7年3月現在	
まっど地域つながり マップ掲載資源情報	66ヶ所
※令和8年3月現在	

地区の特徴

- 小金原団地と商店街が街の中心となっており、商店街には市役所支所、郵便局、クリニック、スーパー、銀行などが揃い、非常に利便性の高い地域。周辺には戸建て住宅が広がっており、静かで落ち着いた環境が特徴。
- 小金原地域は山を切り開いて造成されたため、急坂が多い地形。そのため、移動手段としてグリーンスローモビリティが普及しており、住民の暮らしを支えています。
- 各町会でのイベントが盛んな地域であり、住民同士の交流が活発なものも注目すべき点です。

地域課題

1 社会資源が活用できていない

個別相談・民間企業連携等

マッチング
洋菓子ミカワヤ（カフェ）
コープ（防災教室）
グリーンスローモビリティ

2 居場所がない・わからない

つくり・つなげ・つたえる

ゴミ拾い（パトワーク）
認知症カフェ「栗カフェ」
会館フリースペース
グループホーム

3 地域活動のリーダー不足

地域活動に参加する

小金原団地モルックサークル
6-7有志の会（2層ワーキング）

地域課題解決に向けた活動

1 社会資源

マッチング

相談員のケースの訪問に同行し興味のある活動を聴取し、希望に沿った内容の活動（モルック、ヨガ教室等）をご紹介します。

洋菓子ミカワヤ

昨年から引き続きカフェの開催とハンドメイド作品の販売をお願いしています。



2 居場所

ゴミ拾い（パトワーク）

ゴミ拾いを行うことで地域の方から声をかけていただく機会が増えました。



認知症カフェ「栗カフェ」

2018年から続いている通いの場です。相談員の紹介により参加される方が増えました。



3 小金原地域

町会老人会

各町会の老人会から声をかけていただきイベントをしています。



小金原団地モルックサークル

今後、栗カフェのメンバーとの交流会を計画しています。



コープ（防災教室）



介護者のつどい



小金原6-7有志の会（2層ワーキング）



活動する中で出てきた言葉

認知症カフェ「栗カフェ」

初回参加時

ここで何したいのかわからない。
次は来ないかも



3回目の参加

ここは楽しいわね。
お迎えのバスがあるのもいいわね！



地域活動の話し合い

初対面で自己紹介をしたら

異動が多すぎる。
職員を覚えられないよ。
僕が知っているのは
〇〇さんだけだ



次にお会いした際

平山さん■についてどう思う？
話したいことが
いっぱいあるんだよね



6-7有志の会（2層ワーキング）

500円で電球の取り換えやちょっとした片付けなどのお手伝いをする。
この活動を周知するために不定期で食事会や物々交換会などのイベントを行う。月に1回の定例会でイベントの企画や会の運営について話し合う。



「イベントをしても、参加者が毎回同じ。本当に出てきてほしいのは家に閉じこもり、人との交流がない人」



オレンジ協力が積極的に当事者の方と関わっている

一喜一憂せず
めげずに地域に出続ける

今後の課題として
何ができるか考える

令和7年度報告

通年目標「みんながつながる小金原」の実現

	1 社会資源活用 (マッチング・民間企業連携等)	2 居場所	3 地域活動リーダー
結果	マッチング（成立） - 相談員からの認知症カフェ、体操教室への紹介・入会案内 - 地域のモルックサークル マッチング（相談中） - ヨガ教室 民間企業 - コープ - 洋菓子ミカワヤ - ベストリハ - ロイヤル介護	男性参加者を増やす活動 - 体操教室や認知症カフェへの参加が定着した方が増えた 通いやすい場を作る - 認知症カフェの帰宅支援 悩みを解決したい - 個別スマホ教室の開催 - 介護者のつどいを隔月に実施し、参加者が増えた	レクリエーション講師 1名 ・デイサービススタッフ ※この方の友人が不定期で参加。いずれ定期的な参加につながれば。 2層ワーキングコアメンバー ・精神疾患のあるメンバーが加入
改善点	イベントが主体で持続性に欠ける	・送迎などの移動手段が少ない ・つながりが必要な方を居場所につなげる	・若年層の取り込みが不十分 ・高齢による継続の不透明さ

次年度に向けて

- 1 社会資源活用 ➡ 持続性のある社会資源の発掘・立ち上げ
- 2 居場所 ➡ 送迎手段の検討・既存の活動の周知
- 3 地域活動リーダー ➡ 若年層の取り込み

13 新松戸地区

横須賀1～2丁目・新松戸1～7丁目・新松戸東
新松戸北1～2丁目・小金1100～1300番台

助け合いのまちづくり

認知症について知ってもらおう

～子どもから企業まで見守りの目を増やす～

総人口	37,869人
65歳以上	10,836人
高齢化率	28.6%
75歳以上人口比率	16.9%
※令和7年3月現在	
まっど地域つながり マップ掲載資源情報	61ヶ所
※令和8年3月現在	

地区の特徴

- 築40年を超えたマンションが多くあり、独居や高齢者のみの世帯が増加している。
- 平地だがアンダーパスが2カ所あり人通りも多い。場所によっては買い物が不便なので自転車移動する高齢者もいる。
- 外国人学校があるため多国籍の住民も増えている。

地域課題

- マンションのコミュニティやボランティア活動が活発で健康意識の高い高齢者が多い
➡ 一方で、閉じこもりがちで活動に参加されない方もおり、把握が難しい。
- 認知症高齢者が近隣トラブルに発展するケースが増えている。
身寄りのない高齢者の場合、安否確認や緊急時の対応に苦慮することもある。

地域課題解決に向けた活動

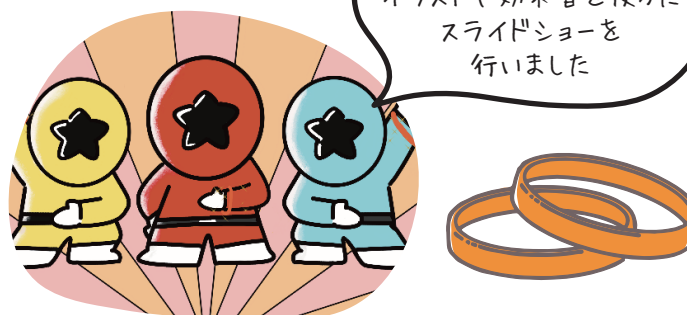
認知症サポーター養成講座

今年度は小学生、企業、市民向けに認知症サポーター養成講座を開催。対象者に合わせて動画やスライドショーを用いたり、よくある事例を取り上げたりと、わかりやすい内容を意識した。
小学生向けの認知症サポーター養成講座では、馬橋西・馬橋地域包括支援センターと合同で実施し、連携強化にもつながった。
どの講座においても「わかりやすかった」「認知症について知ることができた」といった感想を多くいただけた。

企業（銀行）向け



市民向け



動画を流したり
イラストや効果音を使った
スライドショーを
行いました

スライドも
わかりやすいよう
小学生向けに
しました

にんちしょうサポーターとは？

にんちしょうのひとや
そのかぞくをおうえんしたり
あたたかく やさしくみまもるひと

その他の活動

書店にて認知症のPOPを掲示

認知症に関するPOPをオレンジ協力員と一緒に制作し、書店にて掲示した。
普及啓発のティッシュ配布や認知症のシンボルカラーでもあるオレンジ色の装飾にして目に入りやすいように工夫した。



徘徊高齢者声かけ訓練

オレンジ協力員やボランティア活動に関心のある方を対象に、街中で困っている高齢者を発見した際の声かけ訓練を実施。
当日は18名参加され、実際に声をかける練習や対応方法について学んでもらった。
前年度同様馬橋西・馬橋地域包括支援センターと合同で開催した。



認知症カフェ

認知症の方だけでなく、地域の方が気軽に集まれる集いの場として毎月開催している。
オレンジ協力員と参加者同士の交流だけでなく、オレンジ協力員による体操や合唱など楽しめるようなプログラムも不定期で行っている。



パトワークによる個別訪問

毎月オレンジ協力員によるオレンジパトワークの中で、一人暮らしの高齢者宅へ訪問して見守り活動を行っている。
訪問する人数は数名程度だが、訪問を心待ちにしている方もおり交流の場となっている。
天候や季節によって訪問できない月もあったが、今後も個別訪問は継続していきたい。



地域課題の把握

新松戸地区のボランティア活動に貢献されている方々と、マンション住民における現在の課題や取組みについて情報共有を行った。
独居高齢者や身寄りのない方が増えてきており、何かあった時に気付ける見守りの体制や環境づくりが重要であるという話が あがった。
今後は協力していただけたらという方に声かけをして孤独死に関する勉強会を開催するための準備を進めていく。

次年度に向けて

- 1 地域課題や新松戸地区の社会資源を把握し、ネットワークづくり（二層ワーキング）を行う。
- 2 認知症の普及啓発だけでなく、地域包括支援センターや多機能コーディネーターの役割について地域住民に知っていただけるよう普及啓発を行う。

14 馬橋西地区

旭町1～4丁目・外河原・七右衛門新田・主水新田
新松戸南1～3丁目・西馬橋1～5丁目・西馬橋相川町
西馬橋蔵元町・西馬橋幸町・西馬橋広手町・馬橋 (JR線西側)

シニアの方々の活動参加の
場所の提供を積極的に取り組みながら
住み慣れた街でいつでも
お元気で過ごして頂く活動を行う。

総人口	22,646人
65歳以上	5,771人
高齢化率	25.5%
75歳以上人口比率	15.6%
※令和7年3月現在	
まっど地域つながり マップ掲載資源情報	58ヶ所
※令和8年3月現在	

地区の特徴

- 駅周辺、住宅地域、江戸川沿い近辺といったエリアによって住民層の特徴が異なる。
- 商業施設が少なく、高齢者が気軽に集える場所が少ない。
- 平地が多い地区だが、交通の便が悪く移動手段が少ない。
- 元気応援くらぶ実施団体が少ない。

今年度の取り組み

- 今年度はシニアの方の個別ニーズに対応するため、ケアマネジャーとの連携を強化し、対象になる方の意欲向上のお手伝いをさせて頂きました。
- 介護認定をお持ちの方でも自分らしくやりがいを感じて頂くお手伝いを行ったり、高齢者はどのようなイベントなら興味を持ち外に出てきてくれるかと考え、参加しやすい認知症予防のイベントや企画を考えました。
- オレンジ協力員との連携も前年度同様行い、認知症関連のイベント等の活動を行いました。

介護認定をお持ちの方でも自分らしく 過ごして頂くための意欲向上のお手伝い

多機能コーディネーターに赴任してから、地域の方の活動の情報などは常に集めていますが、今年度はその中でもケアマネジャーとの連携を密に行い、そこから趣味の域を超えた作品作りをしている方と更に沢山出会うことが出来ました。身体が不自由になっちゃったからとあきらめがちになられていた介護認定をお持ちの方でも、ちょっとお手伝いすることで元気になるんじゃないかなという思いでお手伝いをさせて頂きました。

ケアマネさんからお話を頂く方は要支援で身体が少し不自由になっている方が多いが、自分の好きな事を誰かがちょっとお手伝いすることによってその方の生きがいや喜びに変えてあげられるのでは？

場所があれば作品を見て頂くいきっかけになるのでは、どのように見て頂く？イベントでブースを設ける？場所を借りる？

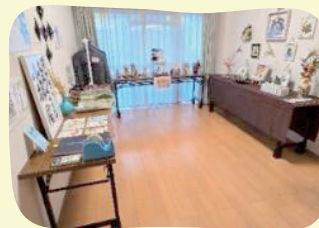
- 高齢者支援課より、シニア交流センター祭りへの認知症カフェ出店のお話を頂く
- ➡ 毎年沢山の来場者が来られるお祭り
- ケア会議にて、居宅介護の事務所の1室を開放し何かやりたいというお話を聞く。
- ➡ 駅前の人通りの多い場所

よし！展示・販売をやってみよう！

1 ギャラリーしろくまの小部屋を開催

(R7.12.17～24)

馬橋西地区内にあるしろくま介護の事務所の1室をお借りして、地域の方々の手作り作品を展示するギャラリーを開催しました。



反省点

事務所に来た営業の方が見てくれたりしたが、肝心の地域の方の来場者が少なく、次回は周知活動のやり方を工夫しないといけないと感じた。

事務所は看板猫ならぬしろくま親子のぬいぐるみがお迎えしてくれます

2 シニア交流センター祭りに 認知症カフェ出店

(R7.11.15)

認知症カフェの隣のスペースで地域の方の手作りの作品やお洋服を、ご本人が希望する金額で販売。たくさんの来場者の方々に手に取って見て頂きました。



よかった点

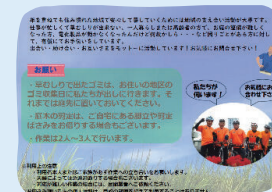
お祭りは毎年沢山の来場者が来るイベントで、沢山の方に作品を見て頂き購入もして頂きました。

自分の作品が沢山の人に見てもらえる喜び、販売して売れることでご自身の生きがいや意欲向上に繋がりが皆さん自信を取り戻し明るい表情になったのが印象的でした。



有償ボランティアスマイルファイブの活動

R6.11に活動をスタートした有償ボランティア「スマイルファイブ」ですが、昨年の夏前くらいから草むしり等の依頼が多く入るようになり、作業の丁寧さや低料金が口コミで広がり無理のない範囲で活動をされています。草むしりだけでなく家の中でのちょっとした困りごと等も引き受けて頂いており、彼らのモットーである、困っている人たちのちょっとしたお手伝いが出来れば、という思いが現在も順調に続いています！



ほっこりエピソード

代表のご自宅の近くに障害を持つ70代の男性がいる。昔から煙たがられる存在であったが代表は昔から声をかけ続けており、今回スマイルファイブ立ち上げをきっかけに、彼と一緒に作業をするなど彼にも役割を付けてあげ、本人も活き活きと活動をしているのがとても印象的でした！

立ち上げ当初考えていなかった共生社会が自然と出来ていたことに感動しました！



外出したくなる脳トレイベント活動

高齢者が外に出たくなうようなイベントは何か？脳トレもプラスできるといいよね。という思いから下記のイベントを企画してみました。

脳トレしよう！ ゲーム編イベント



初めて触れるコントローラーにドキドキしながらも、指導者と仲間がいて楽しくていただけたという事が分かりました。

初心者もOK！ マージャン教室



麻雀だったら男の人も外に出てきてくれるかなとチラシだけでなくケアマネジャーにもお願いし参加者を募ると回数を重ねるごとに人数が増えていきました。

一人では参加しづらいけれど、誰かとちょっとした声掛けを行えば、皆がいる場所に出てきてくれるんだと分かりました。



オレンジ協力員活動

- ・ パトワーク (月2回)
認知症カフェのお手伝い
施設入居者の方とお花植え
ごみ拾い
オレンジ交流会
施設ボランティア
徘徊高齢者声掛け訓練
体操教室お手伝い



次年度に向けて

- 1 つながり協力員による見守り・訪問事業をスタートし、独居高齢者等の見守りを強化する。
- 2 高齢者が通いやすい活動の場 (元気応援くらぶなど) の提供をサポートしていく。
- 3 オレンジ協力員の方と協力しながら認知症の人でも気軽に通える居場所づくりを行っていく。

15 馬橋地区

馬橋（JR線東側）・三ヶ月・幸谷・八ヶ崎
八ヶ崎緑町・八ヶ崎2～8丁目・中根・新作
中根長津町・中和倉

地域の高齢者が
つながることのできる居場所づくりと
住民ネットワークの構築

総人口	39,530人
65歳以上	9,466人
高齢化率	23.9%
75歳以上人口比率	14.4%
※令和7年3月現在	
まっど地域つながり マップ掲載資源情報	62ヶ所
※令和8年3月現在	

地区の特徴

- 元々町会自治会、民生委員、地区社協をはじめとした地域活動が比較的活発だが、構成員の高齢化が課題。
- 建て売りの新築住居が増えてきており、子育て世帯の転入が多い。
- 山を切り開いた地域に坂が多く、買物や外出等が大変な場所が点在する。

課題の共有とアクションプラン

地域の民生委員等からヒアリングを実施し、地域課題を抽出。その後、町会長向けにアンケート調査を実施し、ステークホルダー（町会長・民生委員・オレンジ協力員等）に声をかけ、準備委員会（2層ワーキング）を設置。課題意識を共有し、町会の会館を利用したサロン（居場所）を立ち上げた。

地域課題

- 既存のサロンには固定化した参加者が多く、新たに参加しづらい
- つながりの希薄な高齢者（特に男性）が長時間、気軽に来ることが出来る居場所がない
- 有事の際につながりや支援が必要な人ほど、社会資源に繋がっていない
- 町会役員や民生委員等の高齢化や担い手不足が深刻

地域課題解決に向けた活動

1 取組の実際

（2層ワーキングの活用）

～6月
地域課題の抽出

- 町会・自治会長を対象に「地域課題に関するアンケート調査」を実施
- つながりの必要な高齢者やその予備軍の方（特に男性）が社会資源に繋がっていない
- 既存のサロンには固定化した参加者が多く、新たに参加しづらい雰囲気がある（受入れ間口の広いサロンの必要性）

～7月
課題の共有

- 町会長、民生委員、オレンジ協力員等と地域課題を共有し、定期的な話し合いの場を作った（運営委員会と作業部会の設置）
- 町会役員や民生委員の担い手不足の解消や中長期的な地域活動希望者の発掘が課題

～9月
運営の準備と地域調整

- サロン設置に向けて地域のステークホルダーに趣旨説明をして意思疎通を図った
- 運営委員会／5回実施・作業部会／3回実施（9月末時点）
- 規約、運営ルール等の策定

～11月
サロン運営の開始

- 実施プログラムの決定と町会の回覧板にて参加周知を行う
- 運営スタッフの募集（町会長・民生委員・元民生委員・オレンジ協力員・地域住民等）

～1月
活動の評価と再検討

- 運営スタッフと参加者の確保
- プログラム内容
- 効果的な活動内容の周知方法
- 運営基盤の充実（元気応援クラブ等への申込）

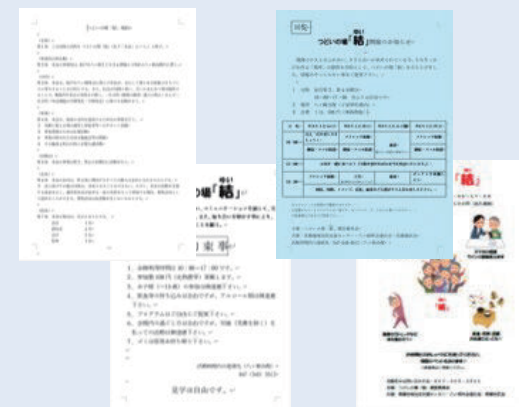
2 つどいの場「結」(ゆい)の様子

10:00～17:00の間に出入り自由な“開放型”サロンを11月末に、つながり作りの場として、八ヶ崎会館にて新規オープン。「やりたいことを参加者が提案できる」がコンセプト。



3 運営委員会・作業部会で決めたこと

本活動は中期的に自主化する目標が明確だったため、規約は早い段階で策定しました。ポスターやチラシなどの回覧物もできるだけ運営スタッフに作ってもらうように後方支援を意識しました。



4 その他の活動



居場所・サロン

オレンジ協力員を中心として、健康増進・フレイル予防・認知症予防の教室などを開催しています。（計3ヶ所）介護者のつどいでは、ピアカウンセリングをしながら、役に立つ情報提供等もしています。

男性向けの料理・サロン

男性限定の料理クラブや、くつろげるサロンを定期で運営しています。料理クラブは参加者同士でメニューを決めて、買物、調理を楽しくしています。また、サロンは、ギターの生演奏で懐かしい歌を朗らかに歌っています。

オレンジ協力員

オレンジパトワーク、「くつろぎの場所」、つどい場「結」、認知症カフェの運営協力をしてもらいつつ、昨年に続き、3包括合同の高齢者声掛け模擬訓練を実施しました。また、定例会や、多業種との交流会も行いました。

周知・啓発

いきいき安心センターの役割の周知や、消費者被害に関する情報提供等を地域に向けて発行し、フェイスブックも活用しています。（毎月）

次年度に向けて

- 1 つながり作りのできる居場所の後方支援
- 2 ステークホルダーと地域課題の共有機会を持つ

互助と共助レベルで“見逃さないネットワーク”を構築する

まつど地域 つながりマップ

「まつど地域つながりマップ」とは

主に高齢者を対象とした松戸市内の地域資源(交流の場・通いの場、生活支援サービス、買い物・移動支援等)の情報をパソコンやスマートフォンなどで簡単に検索できるサイトです。 <https://ayamu.casio.jp/matsudo-chiiki>

こちらのQRコード
からご覧ください▼



やりたい! やってみたい!
探してみませんか?



「まつど地域つながりマップ」で探せる地域資源の種類

交流の場・ 通いの場

健康体操・スポーツ、
将棋・囲碁・麻雀、
茶話会 など



生活支援 サービス

草取り・庭の手入れ、
ゴミ出し・掃除、
見守り など



買い物・ 移動支援

配食サービス、
移動販売 など



多機能コーディネーターによる情報提供

多機能コーディネーターが、地域で集めた情報を掲載しています。「自分に合った情報を知りたい」という方は、お近くの高齢者いきいき安心センター(地域包括支援センター)にいる、多機能コーディネーターまでお気軽にお問い合わせください。

高齢者いきいき安心センターの一覧はこちら▶



あなたの「やってみたい」が3つのステップで見つかる!



① まずは検索!

交流の場・通いの場、生活支援サービス、買い物・移動支援など、たくさんの情報がみつかります。

② 詳細情報を確認!

情報について
気になることは、
問い合わせてみましょう。



③ 気軽に参加!

興味のあることややって
みたいことが見ついたら、
参加してみましょう。



操作方法是裏面をご覧ください

「まつど地域つながりマップ」操作方法

まずはどんな地域資源があるか
検索してみましょう!

こちらのQRコードからご覧ください▶



A カテゴリーから検索

地域資源をカテゴリー別に検索します。

カテゴリーページ カテゴリーの説明ページを表示

詳細区分表示 選択した詳細区分の一覧を表示

表示 詳細区分の項目が表示されます。



下にスクロールしていただくと
様々な項目が表示されます。

B キーワードから検索

キーワード入力欄に入力された
文字列を検索条件で使用します。



C 地区から検索

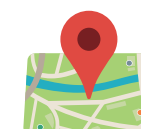
登録されている地区を選び検索します。



D 住所から検索

郵便番号入力欄に入力された「郵便番号の住所」や
住所入力欄に入力された「文字列の住所」を中心に
検索範囲の半径距離選択で選択された距離を
検索条件として使用します。

※スマートフォン版のサイトでは、
現在位置からの検索も可能です。

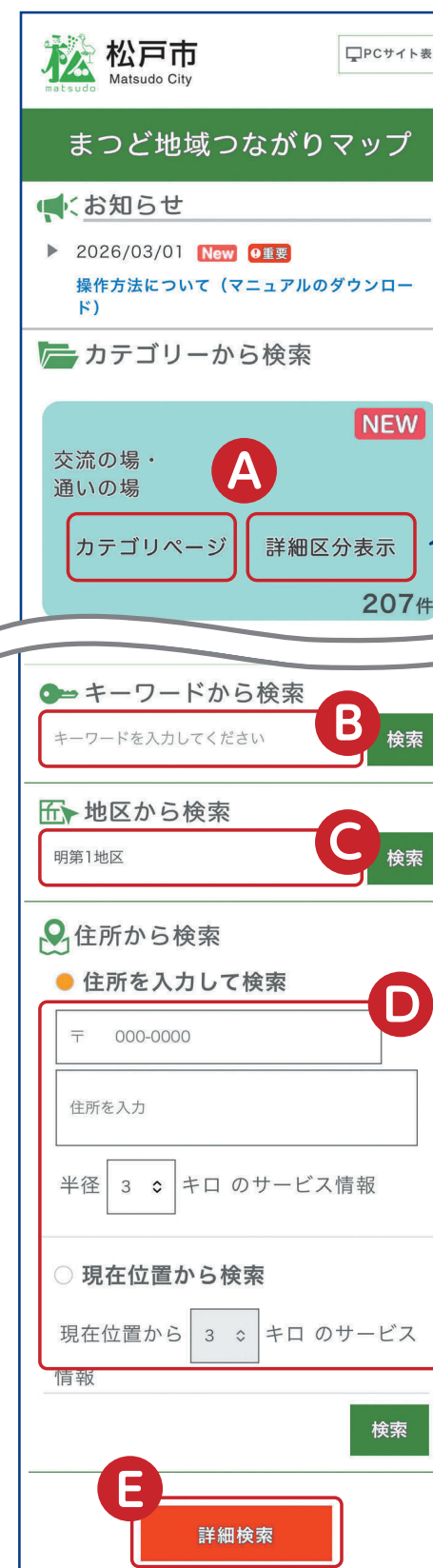


E 詳細検索

詳細検索 ページを表示します。

※操作方法是、操作マニュアル「3[詳細検索]ページの説明」を参照。

※パソコン版のサイトと同じ条件で検索が可能です。



※スマートフォン画面イメージ